読書でビジネス力をアップする（第47回）

今そこにある“人間関係の痛み”を和らげる術

2019.04.04

仕事は嫌いじゃないけど、人間関係がめんどくさい！
ロミオ・ロドリゲスJr.
クロスメディア・パブリッシング（インプレス）

人間関係の本です。テレビでもよく目にする「メンタリズム」という心理術を使って、上司や先輩、同僚、部下など、職場の人間関係を改善させます。

メンタリズムを使えば、無意識に相手の心を読んだり、コントロールができたりします。手品ではありませんので、100％とはいきませんが、かなりの確率でそれができるようになるそうです。著者は、これを「人間の取扱説明書」としています。学んで使えば、例えば相手が考えていることも、おおよそ当てることができ、コントロールできると言います。その方法が分かります。

仕事は楽しいのに、人間関係がうっとうしい――そういう悩みをよく聞きます。そんな煩わしい職場の人間関係が、メンタリズムで改善するなら学びたいものです。本書にはその方法が具体的なテクニックとして書かれています。

経営者や役員、上司、先輩、同僚、部下など、立場ごとに書かれています。さらに、自慢話、ひがみ、押しつけなど、ケースごとに書かれていますので実践的です。例えば、自慢する上司には、上には上がいると分からせる「再否定の話術」、生意気な部下には、一瞬キレてすぐ笑顔に戻る「シャークケージ効果」という具合に紹介されていきます。

メンタリズムで、嫌な人間を黙らせることができれば、ストレスは解消し、毎日穏やかに過ごせるようになります。仕事に集中できれば成果も上がるはずです。

「仕事は好きなのに人間関係が耐えられない」という人はもちろん、もともと人付き合いが苦手・うまくいかないという人など、職場の人間関係に悩むビジネスパーソンにお勧めします。

仕事に注力するための欠かせないスキル… 続きを読む